

新しい「学び」とふくしま高校生社会活動コンテスト

2016年11月26日 REASE 公開講座

福島の高校生が日本を元気にする 3

ふくしま学びのネットワーク事務局長・東京大学特任研究員

前川直哉

1. 20年後の日本

- ・ロボットと人工知能（A I）の時代。
→ホワイトカラーの仕事の多くが、人工知能（A I）に置き換えられることが予想される。
- ・ロボットや人工知能（A I）にはできない仕事＝自分で課題を発見し、解決する仕事
→暗記中心・ロボット型の勉強から課題発見・解決型の「21世紀型学び」が重要に。

2. 福島で胎動する「新しい学び」

- ・いま、福島で学ぶ意義
 - 1) 世界最先端の「知」が集まる場所
 - 2) カッコいい大人が集まる場所
 - 3) 割り切れないことを、割り切れないままに考え続けることが必要な場所
 - 4) 若者が活躍できる場所

3. 社会活動コンテスト

- ・2016年9月25日、福島テルサにて開催。
結果は次ページの通り。

【2016 ふくしま高校生社会活動コンテスト 結果】

★最優秀賞

福島高校 福島復興プロジェクト 土湯魅力創造班（福島県立福島高等学校）
「福島復興プロジェクト 土湯魅力創造」

★東京大学 REASE 賞（優秀賞）

ガチリン（わかりやすいプロジェクト（国会事故調編））（学校の枠を超えたグループ）
「ガチリン（わかりやすいプロジェクト（国会事故調編））」

★ふくしま学びのネットワーク賞（優秀賞）

福島県立新地高等学校 新地駅前プロジェクト（福島県立新地高等学校）
「新地駅前プロジェクト in 新地高校」

★審査員賞 ※50音順、重複受賞あり

ガチリン（わかりやすいプロジェクト（国会事故調編））（学校の枠を超えたグループ）
「ガチリン（わかりやすいプロジェクト（国会事故調編））」

チーム「Future」（個人）

「広野町の課題解決へ向けて」

福島県立新地高等学校 新地駅前プロジェクト（福島県立新地高等学校）
「新地駅前プロジェクト in 新地高校」

福島高校ダイバーシティ（福島県立福島高等学校）
「福高ダイバーシティ」

福島高校 福島復興プロジェクト 土湯魅力創造班（福島県立福島高等学校）
「福島復興プロジェクト 土湯魅力創造」

主催 一般社団法人 ふくしま学びのネットワーク

東京大学REASE（研究代表者：東京大学大学院経済学研究科 教授・松井彰彦）

後援 福島県教育委員会

協賛 認定NPO法人福島100年構想委員会、福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」